

会員一覧

団体会員(順不同)

亀山市
亀山市議会
亀山市教育委員会
亀山市農業委員会
亀山市自治会連合会
亀山ライオンズクラブ
亀山ロータリークラブ
亀山商工会議所
(一社)亀山青年会議所
亀山青年会議所シニアクラブ
鈴鹿農業協同組合 亀山地区
三重茶農業協同組合
亀山市婦人会連絡協議会
亀山地区労センター
(一社)亀山市観光協会
鈴鹿森林組合
(一社)三重県建設業協会 亀山支部
亀山地区労働者福祉協議会
亀山市地域まちづくり協議会連絡会議

[19団体]

企業会員(五十音順)

アパホテル <三重亀山>
(株) 安全
(株) エイチワン 亀山製作所
NTNアドバンストマテリアルズ (株)
カメヤマ (株)
亀山瓦斯 (有)
亀山急送 (株)
(株) 亀山ショッピングセンター
亀山製絲 (株)
北伊勢上野信用金庫 亀山支店
協同油脂 (株) 亀山事業所
高圧昭和ボンベ (株)
(有) 小菅金物
(株) 三扇
(株) ジェイテクト 亀山工場
島内建設 (株)
シャープ (株) 亀山事業所
昭和パックス (株) 亀山工場
白川建設 (株)
(有) シラカワ
鈴鹿インター (株)
(株) スチールセンター 亀山事業所
(株) セキデン
(株) 大紀アルミニウム工業所 亀山工場
(株) 第三銀行 亀山支店
田島シルク (株)
中日運輸 (株)

[53社]

在来線 ~もっと乗って!もっと便利に!~

JR西日本 関西本線の交通系ICカードの利用可能エリアが3月13日から拡大され、亀山・加茂間においてICOCAなどが利用できるようになりました。

また、亀山市が無償譲渡を受けた加太駅舎については、木造駅舎の雰囲気を生かした地域活性化拠点への改修工事が予定されています。今後は、地域に親しまれる利用しやすい駅舎、歴史観光資源や地域のにぎわい交流・情報発信などの場としての活用が期待されます。

これらを契機に、関西本線・紀勢本線の複線電化や交通系ICカードの利用可能エリアのさらなる拡大等につなげるため、ぜひ鉄道を利用しましょう。

当市民会議では、引き続き、「もっと乗って!もっと便利に!」を合言葉に、鉄道利用の促進を図り、JRの利便性の向上に向けた取り組みを積極的に進めています。



亀山鉄道部30周年記念ステッカーを貼った車両

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議会報

第9号 [令和3年4月]



亀山駅前での再開発工事の仮囲いを活用したPR

会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井 義之

陽春の候、皆さんにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、リニア中央新幹線の整備につきましては、事業主体であるJR東海において、国の財政的支援により全線開業までの期間を最大8年前倒すことを目指した取り組みが進められる中で、現在、2027年の東京・名古屋間の先行開業に向け、鋭意建設工事が進められているところであります。そのような中、三重県や県内市町等で構成するリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会では、事業主体へのリニア県内駅候補地の要望に向けた検討作業が進められており、この度、県内駅位置候補を「亀山市」とすることが決定されました。今後は、市内において駅候補地案の検討が進められていくこととなっております。

このように、リニア中央新幹線の整備は、国家的プロジェクトとして、着実に、そして、力強く前進するとともに、三重県としても新たな展開を迎えており、「夢」から「現実」への新たなステージにきております。

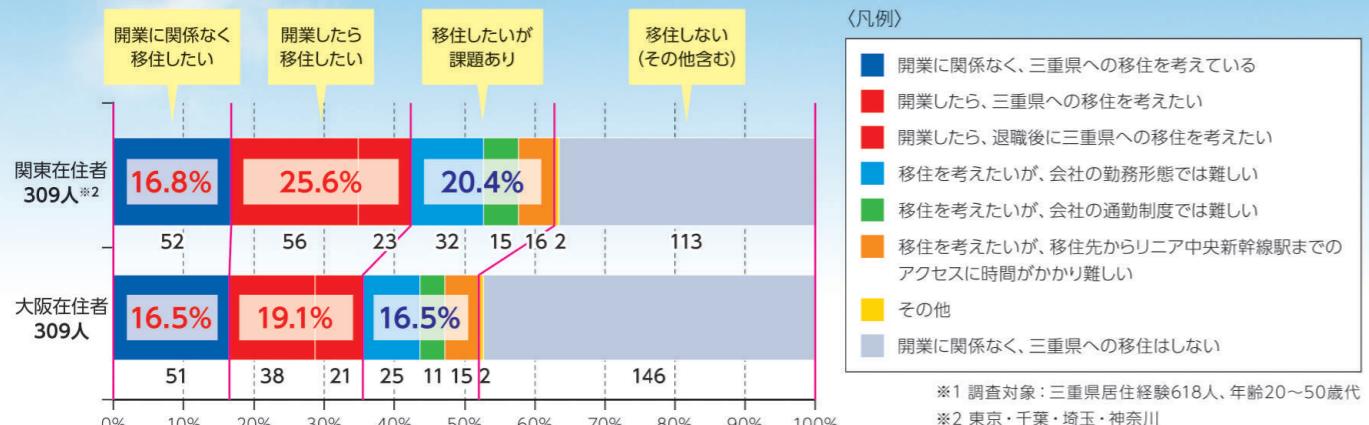
一方、在来線につきましては、今春からJR西日本 関西本線の交通系ICカードの利用可能エリアが拡大され、利便性が大きく向上しました。ぜひ、これを契機により一層、鉄道をご利用いただき、さらなる在来線の利便性向上につなげてまいりましょう。

当市民会議といいたしましても、引き続き、リニア中央新幹線の全線早期開業、「リニア亀山駅」の実現、そして、発足当初からの目標である関西本線・紀勢本線の利便性向上に向け、関係機関と協力しながら、幅広い活動を精力的に展開してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

移住面での効果

リニア中央新幹線が開業することで、関東・大阪のいずれの地域においても開業前に比べ、**移住ニーズが2倍以上高まる**ことが分かりました。また、アンケート回答者全体で、**約4割の方が本県に移住したい**と考えている結果となり、リニア中央新幹線の開業による**本県への移住者の増加**が期待されます。

三重県にU・Iターン移住を考える人の割合 (三重県に居住経験がある方にアンケート調査^{*1}を実施)

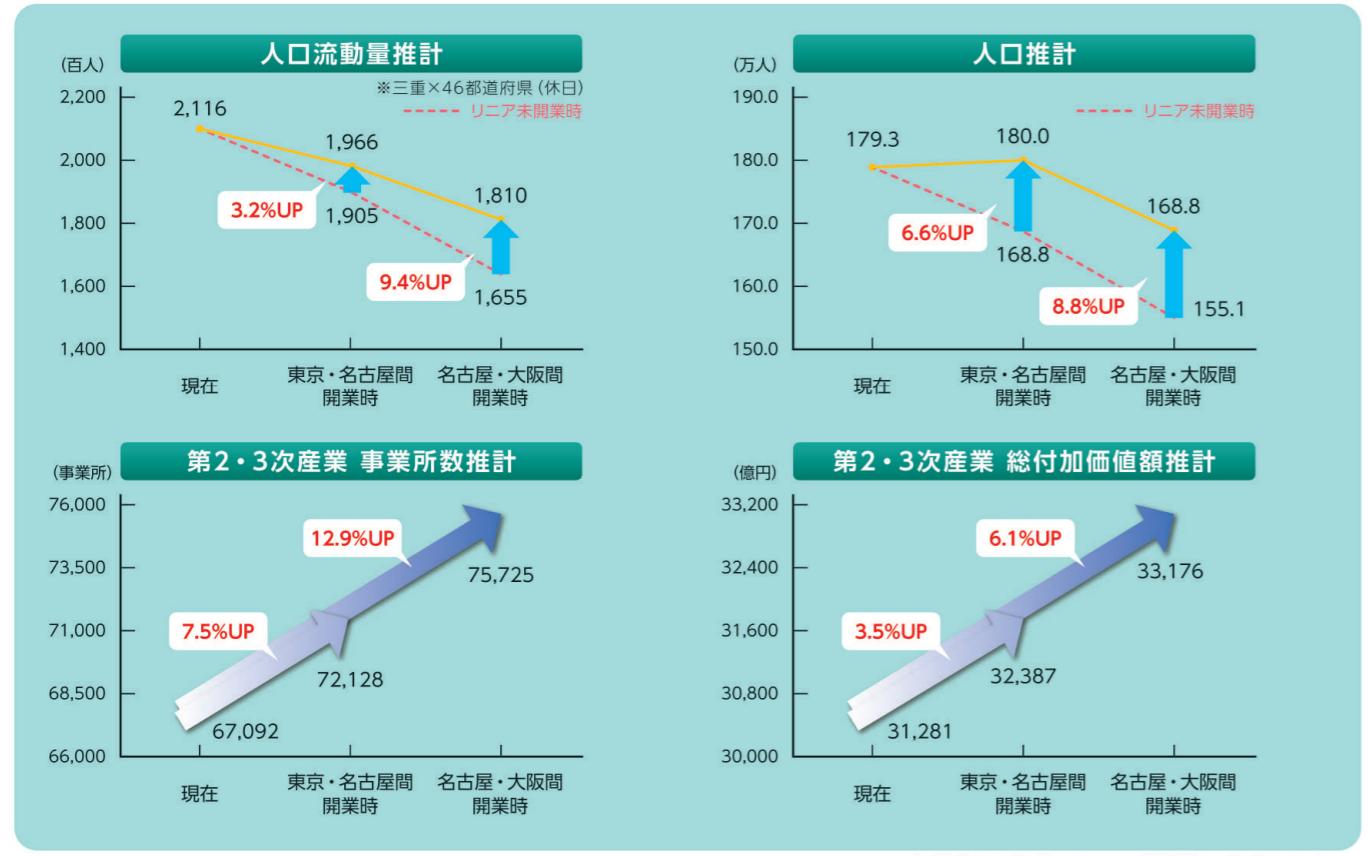


経済面での効果

リニア中央新幹線が開業すると、本県と全国各地間の所要時間が短縮され、**アクセシビリティ**(移動のしやすさの指標) **が向上**します。

これにより、本県における**人口減少率の緩和や第2次産業、第3次産業の事業所数が増加**し、県内企業が新たにモノやサービスを生産した儲け(総付加価値額)が**約6.1%増加**することが見込まれます。

その結果、雇用者数の増加などにつながり、**経済の豊かさの向上**が期待されます。



三重県のホームページでは、リニア中央新幹線の概要や開業によりもたらされる効果についての動画も公開中です。ぜひご覧ください。

転入者
UP↗

リニア駅位置候補を亀山市に決定!!

三重県及び県内全市町等で構成するリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会では、概略駅位置が示される名古屋・大阪間の環境影響評価の着手を見据え、事業主体であるJR東海に対するリニア県内駅候補地の要望に向けた検討作業が進められております。そのような中、本年1月には三重県のリニア駅位置候補を「亀山市」とすることが決定されました。

本会議としては、四半世紀にわたり積み重ねてきた取り組みの成果として嬉しく受け止めるとともに、リニアの全線早期開業・市内停車駅の決定に向けて“オール亀山”での誘致活動をより一層進めていきます。

リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議とは

年表

昭和42年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和62年	国鉄の民営化に伴い、「JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成4年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成6年	「リニア中央エクスプレス・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成13年	市民対象のリニア試乗会を開始(～平成18年)
平成21年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

当市民会議は、昭和42年5月に、国鉄複線電化の推進のために、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成4年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成13年から平成18年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA～新たなステージ、夢から現実へ!!」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山市を中心とした複線電化や利便性向上を目指し、関係機関と連携した強力な推進活動を展開していきます。

令和2年度の活動状況

総会

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面により総会を執り行い、令和2年7月14日付で昨年度の事業報告や令和2年度の事業計画が承認されました。

中央要望

令和3年2月、リニア中央新幹線の市内停車駅の誘致、在来線の複線電化の促進を求め、国や関係機関に対し、要望活動を郵送にて実施しました。

要望内容

○リニア中央新幹線

- ・三重・奈良・大阪ルートによる全線早期開業
- ・亀山市への停車駅の決定 など

○在来線

- ・亀山駅を中心とした複線電化の早期着手
- ・交通系ICカードの利用可能エリアの拡大、乗継時間の改善等による利便性の向上 など



PR活動

PRカレンダー・会報の発行や成人式でのPRグッズの配布に加え、亀山駅前にある亀山駅周辺2ブロック地区再開発工事の仮囲いを活用したPRラッピングの実施、JR関西本線の車内から見える場所への横断幕の設置などを行い、リニア中央新幹線の早期実現・市内停車駅の誘致に向けた機運醸成に取り組みました。

今後も市内外に当市民会議の活動について広く周知し、リニア市内停車駅の誘致等の活動を展開していきます。

※本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、リニア・鉄道親子学習会の開催を見合わせるとともに、青少年のための科学の祭典の開催も中止となり、ブース出展は実施できませんでした。

